ひとりで歩く　夜の浜辺
くらい水平線のむこうから
さそいかけた　ノスタルジア



それは　とまどい　ふるえて
躍るうちに追いつめられる
とても　こわい　幻想の物語

CD制作NOTE――――――。

ゲームのストーリーを追うのではなく、その起源にあるテーマを別の方向に拡大させせることを試みよう。ゲームのBGMを焼きなおしたものではない、独立した“おと”のイメージを中心に、もうひとつ別のストーリー世界をつくろう。それが、きっと楽しい。

1907年というコトバの意味は現代に生きる私たちにとって、もうSFと同じレベルの幻想の領域の中にしかない。

私たちは“ノスタルジア”というコトバの響きが“今”に働きかける、ちょっと泣きたくなるような、弱い感触だけをたどって航海にでてゆくことにしたのだ。

私たちが、なにげなく街を歩くとき、現実との同時性を持ち、実生活に影響をおよぼす強い力を持った幻想というものの存在を“かんじる”ことがある。

音楽は、その目に見えない幻想の感触に最も近いものだ。

地下鉄に乗る時、野を歩く時、あるいは部屋で。この曲集が、あなたを幻想の航海へいざなう透明な船になれれば……。きっとストーリーは、無限に発見されるだろう。

CD CREW.

Composed.	
Singing.	Yukie Marikawa
Arranged.	
Words.	Kazuhide Sasuga
Director.	Yoshiji Yokoyama
Producer.	Kazuhide Sasuga





1. Vision 1.
2. Sense.
3. Moving.
4. Gransirius.
5. Navigation.
6. Vision 2.
7. Indian poker.
8. Plot.
9. Paris lady.
10. café terrasse.
11. opening.
12. Walk.
13. Action.
14. NOSTALGIA after.
15. NOSTALGIA after tomorrow.

TKR-91002
TAKERU.CO.,LTD.

1907
NOSTALGIA

IN NORTH ATLANTIC SEA.
ORIGINAL SOUND TRACK Ver.2.
TAKERU CO.,LTD.

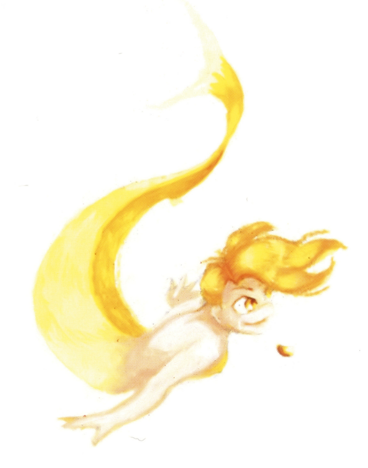


鞠川　雪映

NOSTALGIA *original sound track Ver.2.*

1. 映像。(2M46S)
   Vision 1.
2. 予感。(3M07S)
   Sense.
3. 彼の日々、(6M35S)
   Moving.
4. でも、わたし、(6M41S)
   Gransirius.
5. くつをはく。(2M46S)
   Navigation.
6. 花を買うように、(3M52S)
   Vision 2.
7. 信じない、(2M04S)
   Indian poker.
8. 彼がドアを閉めた、(3M30S)
   Plot.
9. 気弱いんじゃない。(6M44S)
   Paris lady.
10. 週末の午後。(2M59S)
    café terrasse.
11. ここで、(1M57S)
    opening.
12. きんもくせい。(1M03S)
    Walk.
13. そう、(2M02S)
    Action.
14. だから。(1M56S)
    NOSTALGIA after.
15. そして、(2M12S)
    NOSTALGIA after tomorrow.

COMPOSED and SINGING／鞠川雪映
ARRANGED and WORDS／流石一秀
TAKERU CO., LTD.



・・・だから歌う。という理由がないときに、ふと歌いだしている瞬間はなんだろう？
　音楽がまったく存在しない空間に、ぽっこり生まれて生き続けていたとしたら、
どうやって歌を知るのだろうか。現在のように誰もが口からすうっと歌い出す筈がない。
一生、歌と出会うことはないのかも知れない。だからどうだってことでもないのだが、
その瞬間を感じ、再現できたらいいと思う。いろいろな音楽が耳に入る今、
それは絶対できないし、できたとしても真似でしかない。

鞠川雪映





マリカワの風景————。

　鞠川雪映のスカート姿をみたことがない。いつでも、どこへでも、歩きだして
ゆけそうなナリをして、ツールをいじくっている。すこぶる機械に弱い。
「スカートですか？　いやあ、はいて来ますよ……そのうち、たぶん……」
と彼女はコードをつなぎながら言った。でも、配線はやはり間違っていた。

「イリューシャ愛のテーマ」より

流れてゆく時の中に
おだやかに響いている
波を見つめていた

同じ時を同じ夢を
感じていた事を
忘れたくはない

(I can't say What I feel.
Remember me when I'm gone.)

今もまだ心が痛んで
分かっていても素直に

現在(いま)はなれなくて
未来(あした)はどうなの？

また会うときには
きっと・・・・・

